

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画

令和6年度 取組結果

亀 岡 市

実施計画 取組項目一覧

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 ①市民目線に立った窓口サービスの構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
1	窓口サービスの充実・事務改善	企画調整課・市民課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
2	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実	広報プロモーション課	情報発信を行う各課	実施	実施	実施	実施	実施
3	市民協働の推進	市民力推進課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
4	公民連携によるまちづくり	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 ①分野横断的な組織体制の構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
5	庁内連携システムの確立	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
6	人材の育成、職員研修の充実	人事課・市立病院経営企画室	-	実施	実施	実施	実施	実施
7	人事評価制度の運用	人事課	-	実施	実施	実施	実施	実施
8	業務効率を高めるためのICTの活用	企画調整課・情報政策課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
9	電子決裁の推進	総務課	企画調整課、財政課、会計課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 ①経常的経費の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
10	経常的経費を含む事務事業の検証	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
11	元金償還額を上回らない市債の発行	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
12	公共施設マネジメントの推進	財産管理課	各施設所管課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②受益と負担の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
13	受益者負担の適正化	企画調整課・教育総務課	使用料・手数料の所管課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

実施計画シート

No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善				
所管課	企画調整課・市民課		関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。 ・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。 						
期待される効果	窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①窓口業務のあり方の検討						
	対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）		準備	実施	実施		
	他市の状況調査		準備	実施			
	窓口業務のあり方の検討・改善			準備	実施	実施	実施
	②おくやみ窓口の設置						
	各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定		実施				
設置場所・設備関係の調査 設備の設置		実施					
おくやみ窓口の運用			実施				
目標指標	数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	1	20	20
		おくやみ窓口の設置	90%	100%	—	—	—
	実績値	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	14	22	15
		おくやみ窓口の設置	100%	—	—	—	—

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（11件）	
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（4件）、今後の窓口のあり方検討	
実施結果の 自己評価	評価	デジタルファースト宣言に オンライン手続きを11、窓口 合計15件の事務改善を行い、 基づく行政手続きのデジタル化・オンライン化の推進により、 サービスのデジタル化を3、インターネット予約受付を1、 市民サービスを向上させた。					
	達成度	計画	3	目標	2	目標 (実績値)	15件
未達成の原因と 今後の取組	令和3年度のデジタルファースト宣言以降、窓口サービス等のデジタル化を積極的に推進し、緊急性の高い業務や高い効果が見込まれる業務については概ねデジタル化を完了していることもあり、目標数値の達成には至らなかった。						
今後の方向性	継続	コメント	デジタル化が未完了の業務についても引き続きデジタル化を進め、「行かない、書かない、待たない」窓口の実現を目指す。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

※ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>【窓口業務の事務改善、デジタル化の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓口サービスのデジタル化：2業務 <ul style="list-style-type: none"> ・環境プロモーションセンターの施設レンタル手続き（環境政策課） ※貸切等使用に関する申請・許可・使用料納付 <ul style="list-style-type: none"> ・おたふくかぜワクチン接種に係る償還払い手続き（健康増進課） ●各種申請・手続きのオンライン化：9業務 <ul style="list-style-type: none"> ・調整給付金支給事務に係る各種手続をオンライン化（企画調整課） ※公金受取口座の活用、受取口座の申請、問い合わせフォーム <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険料の還付手続き（保険医療課） ・国民健康保険歯周疾患検診の利用券申込手続き（保険医療課） ・「がん患者のアピアランスケア助成金」の申請（健康増進課） ・がん検診に係る各種申込手続き（健康増進課） ※免除申請、胃がん検診受診券発行申請、市外受検に係る申請 <ul style="list-style-type: none"> ・ぴったりサービス各種申請受付（保育課） <ul style="list-style-type: none"> ①教育・保育給付認定申請兼保育所（園）・認定こども園入所申込 ②教育・保育認定申請 ③保育施設の現況届 ・旧学校施設の使用申請のオンライン化（教育総務課）
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>【窓口業務のあり方の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓口サービス改革に関するアンケート調査を実施（近隣自治体） <ul style="list-style-type: none"> ・回答数：29件 ・職員の働き方改革及び市民サービス向上に向け、窓口サービス改革、窓口時間の短縮、臨時延長等に関する他自治体の実施状況を調査 <p>【窓口業務の事務改善、デジタル化の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓口サービスのデジタル化：1業務 <ul style="list-style-type: none"> ・申請書の自動作成システム「Caora」を導入（情報政策課） ※保険医療課…国民健康保険の資格異動届などの各種申請 ●各種申請・手続きのオンライン化：2業務 <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加資格審査申請（建設工事、測量・建設コンサルタント業務等）（契約検査課） ・電子契約の運用を開始（契約検査課） ●インターネット予約受付：1業務 <ul style="list-style-type: none"> ・窓口予約システムの運用を開始（保険医療課） <p>【指定管理施設におけるデジタル化の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設25施設におけるデジタル化を分野別に調査 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン予約システム：20% ・電子決済システム：16% ・デジタルサポート（web問い合わせ等）の提供：64% ・備品レンタル等の申請書類のオンライン化：20% ・利用者のデータ分析：32% <p>※利用者層によりデジタル化の費用対効果が低い施設ではデジタル化を進めていない傾向がある。また、料金区分や利用時間を細かく設定している施設でもオンライン化が難しくなっている。</p>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開庁時間をはじめとする窓口サービスのあり方については、職員の働き方改革と市民サービス向上を両立させる仕組みが必要である。他自治体の取組を参考にしながら、亀岡市における最善の方法を検討する。

(参考)

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 各業務の対応時間確認、連携方法の検討 設置場所、設備関係の調査			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口開設に向けた調査(手続き 項目、手続き内容、所要時間、課題等) おくやみ窓口に係るワーキング会議の 開催(窓口の運用、課題、設置場所の 検討等)		
	下半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 業務フロー決定 設備の設置			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口に係るワーキング会議の 開催(業務フロー決定、設置に係る詳細 の検討等) 設備の設置(レイアウト変更、諸設備工 事)、おくやみ窓口開設の試行運用開始		
実施結果の 自己評価	評価	【②おくやみ窓口の設置】 本格稼働に向けた試行運用として、当初の予定より早くおくやみ窓口を 開設することができた。							
	達成度	計画	5		目標	5		目標 (実績値)	100%
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	【②おくやみ窓口の設置】 本格稼働に向けてワーキング会議を開催し業 務内容等の見直しをする。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4		III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況等の分析 【②おくやみ窓口の設置】 利用者アンケートの実施			実績	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況調査 【②おくやみ窓口の設置】 利用者アンケートの実施、ワーキング会議の開 催(改善点の洗い出し・試行運用状況の分析 等)、本格稼働、広報の実施		
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況等の分析、対象となる窓口業務の洗 い出し(庁内調査) 【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口の運用状況の検証			実績	【①窓口業務のあり方の検討】 対象となる窓口業務を検討していくため、先進 事例の調査を実施 【②おくやみ窓口の設置】 ワーキング会議の開催(運用状況の確認、イン ターネット予約の開始時期の決定)、インター ネット予約の開始		
実施結果の 自己評価	評価	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の取組状況を調査し、今後の取組の参考とした。 【②おくやみ窓口の設置】 インターネット予約の開始により遺族の利便性を向上させた。							
	達成度	計画	3		目標	—		目標 (実績値)	—
未達成の原因と今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口サービスを充実させていくため、窓 口業務の事務改善に向けた取組を進める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	—		III妥当性	3
R4年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 対象となる窓口業務の検討			実績	【①窓口業務のあり方の検討】 庁内各課の窓口業務の事務改善、デジタル化の 状況調査の実施		
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討(窓口のデジタル化の 推進)			実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施(14 件)		
実施結果の 自己評価	評価	デジタルファースト宣言に基づく行政手続きのデジタル化・オンライン化の推進により、オンライ ン手続きを9、窓口サービスのデジタル化を1、インターネット予約受付を2、その他を2、合計14件 の事務改善を行い、市民サービスを向上させた。							
	達成度	計画	3		目標	5		目標 (実績値)	14件
未達成の原因と今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	引き続きデジタル化を中心に窓口サービスの改善に努める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	4		III妥当性	3

R5年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（16件）		
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（6件）、利用者アンケート調査の実施		
実施結果の 自己評価	評価	デジタルファースト宣言に基づく行政手続きのデジタル化・オンライン化の推進により、オンライン手続きを16、窓口サービスのデジタル化を2、インターネット予約受付を3、その他を1、合計22件の事務改善を行い、市民サービスを向上させた。						
	達成度	計画	3		目標	4	目標 (実績値)	22件
未達成の原因と 今後の取組	—							
今後の方向性	継続	コメント	引き続きデジタル化を中心に窓口サービスの改善に努める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	4	III 妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実				
所管課	広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容	市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果	積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	情報発信に対するレスポンス数の調査		実施	実施	実施	実施	実施
	調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	640,000	640,000	640,000
	実績値		753,486	756,034	528,453	406,959	431,180

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期 計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 (市ホームページ全体の訪問者数、各SNSアカウントのフォロワー数)	実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計 (上半期) 225,805件 <参考> ・SNS計38,903 (前年比112%)			
	下半期 計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し	実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計 (下半期) 205,375件 <参考> ・HP全体の総ユーザー数：1,239,963人 (1年間) ・SNS計43,703 (前年比116.3%)			
実施結果の 自己評価	評価	委員会での意見を参考に、ホームページ全体にアクセスした総ユーザー数を指標のひとつとしたところ、一定の流入数増加が確認出来た。特に、イベントカレンダーや広報誌を公開しているWebページへのアクセスが昨年度同時期と比較して大幅に増加しており、導線が出来たと考えられる。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	431,180件
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	市民、市民以外といったターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信を目指す。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>昨年度に比べて、ホームページ全体のアクセス数は減少したものの、LINE、Facebook、Instagramのフォロワー数は増加した。 同時に、Instagram広告・YouTube広告などを配信をしたことで、亀岡市を認知し、一定の興味をもって市HPに訪問する層の確認ができた。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: right;">※前年同時期、前年比</td> </tr> <tr> <td>■市HP（TOPページ）のPV数：</td> <td>186,902</td> <td>(191,732)</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>■SNS合計数：</td> <td>38,903</td> <td>(34,692)</td> <td>112.1%</td> </tr> <tr> <td>・LINE：</td> <td>26,627</td> <td>(23,856)</td> <td>111.6%</td> </tr> <tr> <td>・Facebook：</td> <td>4,819</td> <td>(4,580)</td> <td>105.2%</td> </tr> <tr> <td>・Instagram：</td> <td>7,457</td> <td>(6,256)</td> <td>119.2%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>225,805</td> <td>(226,424)</td> <td>99.7%</td> </tr> </table>			※前年同時期、前年比		■市HP（TOPページ）のPV数：	186,902	(191,732)	97.5%	■SNS合計数：	38,903	(34,692)	112.1%	・LINE：	26,627	(23,856)	111.6%	・Facebook：	4,819	(4,580)	105.2%	・Instagram：	7,457	(6,256)	119.2%	合計	225,805	(226,424)	99.7%				
		※前年同時期、前年比																															
■市HP（TOPページ）のPV数：	186,902	(191,732)	97.5%																														
■SNS合計数：	38,903	(34,692)	112.1%																														
・LINE：	26,627	(23,856)	111.6%																														
・Facebook：	4,819	(4,580)	105.2%																														
・Instagram：	7,457	(6,256)	119.2%																														
合計	225,805	(226,424)	99.7%																														
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>○1. 各種SNSでの通常投稿に加え、各種デジタル広告の出稿により、各ページに多くの流入者を得ることが出来た。</p> <p>○2. 多くの人に対して公式LINEアカウントのリニューアルを周知するため、友だち募集広告を亀岡市内及び近隣の未登録者に向けて発信し、3,121人の友だちを獲得した。</p> <p>○3. Instagramでも積極的な投稿を行い、大幅なフォロワー数の増加につなげた。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: right;">※前年同時期、前年比</td> </tr> <tr> <td>■市HP（TOPページ）のPV数：</td> <td>161,672</td> <td>(177,662)</td> <td>91.0%</td> </tr> <tr> <td>■SNS合計数：</td> <td>43,703</td> <td>(37,565)</td> <td>116.3%</td> </tr> <tr> <td>・LINE：</td> <td>30,443</td> <td>(26,061)</td> <td>116.8%</td> </tr> <tr> <td>・Facebook：</td> <td>4,940</td> <td>(4,684)</td> <td>105.4%</td> </tr> <tr> <td>・Instagram：</td> <td>8,320</td> <td>(6,820)</td> <td>112.2%</td> </tr> <tr> <td>合計（下半期）</td> <td>205,375</td> <td>(215,227)</td> <td>95.4%</td> </tr> <tr> <td>合計（令和6年度）</td> <td>431,180</td> <td>(406,959)</td> <td>106.0%</td> </tr> </table> <p><参考>・市HP全体の総ユーザー数（令和6年度）： 1,239,963人</p>			※前年同時期、前年比		■市HP（TOPページ）のPV数：	161,672	(177,662)	91.0%	■SNS合計数：	43,703	(37,565)	116.3%	・LINE：	30,443	(26,061)	116.8%	・Facebook：	4,940	(4,684)	105.4%	・Instagram：	8,320	(6,820)	112.2%	合計（下半期）	205,375	(215,227)	95.4%	合計（令和6年度）	431,180	(406,959)	106.0%
		※前年同時期、前年比																															
■市HP（TOPページ）のPV数：	161,672	(177,662)	91.0%																														
■SNS合計数：	43,703	(37,565)	116.3%																														
・LINE：	30,443	(26,061)	116.8%																														
・Facebook：	4,940	(4,684)	105.4%																														
・Instagram：	8,320	(6,820)	112.2%																														
合計（下半期）	205,375	(215,227)	95.4%																														
合計（令和6年度）	431,180	(406,959)	106.0%																														
<p>今後の課題</p>	<p>・ホームページは令和8年度にリニューアル予定のため、データに基づいたより見やすく、各担当者の制作のしやすさを検討する必要がある。</p> <p>・各種SNSアカウントは、アカウント創設時から利用状況などが大きく変更になっていることから、より効果的な運用を行うための発信内容や運用に係る人的リソースの見直しが必要である。</p>																																

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート										
R2年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査				実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 512,982件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し				実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 258,953件 ホームページのリニューアルに向け精査・検討を行った。		
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症関連の情報をほぼ毎日発信したことにより、アクセス数・フォロワー数が増加した。ホームページのリニューアルに向け、掲載記事の精査・課題等の協議を行った。								
	達成度	計画	4		目標	5		目標 (実績値)	753,486件	
未達成の原因と 今後の取組		—								
今後の方向性		継続	コメント	令和3年11月から新ホームページの運用開始予定。スマートフォン等での閲覧を前提とし、さらなる情報発信の強化と利便性を旨とする。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4		III妥当性	3	
R3年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査				実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 383,050件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し				実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 400,301件		
実施結果の 自己評価	評価	各種デジタルメディアを活用した情報発信により、各SNSのフォロワー数及び市公式HPの閲覧者を増加させることができた。								
	達成度	計画	5		目標	5		目標 (実績値)	756,034件	
未達成の原因と今後の取組		—								
今後の方向性		継続	コメント	ターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信につなげる。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4		III妥当性	3	
R4年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査				実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 304,726件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し				実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 255,114件		
実施結果の 自己評価	評価	各種デジタルメディアを活用した情報発信により、各SNSのフォロワー数及び市公式HPの閲覧者を増加させることができた。								
	達成度	計画	3		目標	2		目標 (実績値)	528,453件	
未達成の原因と今後の取組		コロナに関する興味関心が薄れたことで、大幅なアクセス数減少が生じた。その反面、コンテンツに関して前年同期間より閲覧時間が18.02%増加するなど改善が見られた。								
今後の方向性		継続	コメント	ターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信につなげる。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	3		III妥当性	3	

R5年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期）226,424件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期）215,227件		
実施結果の 自己評価	評価	各種デジタルメディアを活用した情報発信により、各SNSのフォロワー数を増加させることができた。							
	達成度	計画	3		目標	2		目標 (実績値)	406,959件
未達成の原因と 今後の取組	令和4年度同時期と比較し、コロナ関連の興味が薄れたことで令和5年上半期の流入数が大幅に減少、下半期は前年度同時期と同等で推移した。また、各種施策でTOPページ以外への流入数が増加していることで、指標としている「TOPページへの流入数」の数値達成には至らなかった。								
今後の方向性	継続	コメント	ターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信を目指す。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	3		III 妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進				
所管課	市民力推進課	関係課	全課				
取組内容	職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を広める手法を検討し、実施する。						
期待される効果	市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出		実施	実施	実施	実施	実施
	地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進		準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた取組の実施	実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（1回） かめおか市民活動推進センター委託団体と意見交換（1回）		
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた取組の実施	実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショップの開催（1回）、支援金活用団体の中間報告交流会を実施		
実施結果の 自己評価	評価	まちづくりワークショップについては市民活動推進センターで開催し、多様な参加者が集まる充実した内容のものになった。多様化する市民活動に関する相談・要望に柔軟に対応できるよう引き続きセンターと協力しながら支援を行っていく。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	市民活動に接点をもってもらい、参画につながるような事業を引き続き実施する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の取組実績</p>	<p>①広報、周知活動 ・ 亀岡市の広報誌やホームページ、SNSで市内の団体の行う事業（後援事業）や市民活動を支援する制度の広報を行った。（40件） ・ 令和5年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の事業報告の貼りだしをガレリアかめおか及び市庁舎で行うことで、一般に広く周知するとともに、市職員向けにも活用事業を紹介することにより周知を行った。</p> <p>②まちづくり協働推進委員会 ・ 事業予定の検討や市の支援制度に応募のあった事業についての協議を行った。（1回）</p> <p>③その他、協議・検討事項 ・ 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金活用団体の活動見学に市民も参加できる体験会を行った。 ・ かめおか市民活動推進センターの運営等について委託団体と意見交換を行った。（1回）</p>
<p>令和6年度下半期の取組実績</p>	<p>①広報、周知活動 ・ 亀岡市の広報誌やホームページ、SNSで市内の団体の行う事業（後援事業）や市や府が実施する市民活動を支援する制度等の広報を行った。広報紙32件、SNS2件であった。広報紙ふるさと納税で市民活動への寄附を集める、ふるさと亀岡まちづくり応援事業を活用している団体の事業について、市民への広報だけではなく、市職員向けにも発信することで周知を行った。</p> <p>②まちづくり協働推進委員会 ・ 事業予定の検討や市の支援制度、市民活動をサポートする中間支援組織の機能強化について協議を行った。（2回）</p> <p>③まちづくりワークショップ ・ 市民活動GAME DAYを令和6年11月30日（土）に開催した。内容は市内団体による活動紹介とワークショップNP0ゲームを行った。参加者は活動団体、活動に興味のある人、亀岡市まちづくり協働推進委員の計11名であった。参加者アンケートでは全員が参加してよかったと回答した。また、感想では亀岡市で活躍する団体を知れた；市民活動に役立ちそうな知識を得れた；市民活動への理解が深まった；NP0ゲームが面白かった；参加者と交流できた；会場の雰囲気良かったとの意見があった。ゲームでNP0運営を疑似体験することで、市民活動や協働をより身近に感じるきっかけとなり、市民活動への理解を推進することができた。</p> <p>④その他、協議・検討事項 ・ 支援金活用団体の中間報告交流会を令和6年12月19日（木）に行った。参加者は2団体の代表者と市民活動推進センター職員であった。自治会との関係についてなど意見交換が行われ活動を振り返り参加者同士の交流を深めることができた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・ 市民活動について学べる事業となるように試み、市民活動への理解を深める機会作りができたが、より多くの方に市民活動に参加してもらえる事業展開が必要となっている。</p>

(参考)

進捗管理シート										
R2年度 実施状況	上半期	計画	市民活動や協働に関する事例の提供				実績	亀岡市ホームページやコミュニティ紙における広報		
	下半期	計画	まちづくりに関するフォーラムの開催				実績	市民活動団体へのアンケートの実施		
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためフォーラムは中止したが、市民活動団体へアンケートを実施し、現在の活動状況や課題、市の支援金事業への意見をいただいた。令和3年度事業に反映したほか、今後の事業の検討材料とする。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と 今後の取組		-								
今後の方向性		継続	コメント	アンケート結果の詳細分析を実施し、現在の支援金制度の課題を把握し、改善に努める。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3	
進捗管理シート										
R3年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市民・事業者アンケート実施準備				実績	亀岡市ホームページにおける広報 事業者向けアンケートの実施に向けた検討 まちづくり協働推進委員会の実施		
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市民・事業者アンケート実施				実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働 推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショッ プの開催（1回）、事業者向けアンケートの実施		
実施結果の 自己評価	評価	フォーラムは下半期に1回のみ開催となったが、参加者の満足度の高い交流の場となった。また、事業者を対象に市民活動への参画状況や意識を問うアンケートを実施、分析結果については今後の事業に活用する予定。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組		-								
今後の方向性		継続	コメント	協働に新たに参画する個人、事業者が増えるような情報発信、イベントの開催を継続する。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3	
R4年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供				実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働 推進委員会の開催（1回）、まちづくりワークショッ プの開催（1回）		
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市内各地域の特性にあった市民活動推進方法の検討				実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働 推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショッ プの開催（1回）、市内各地域の特性にあった市民活 動推進方法の検討		
実施結果の 自己評価	評価	まちづくりワークショップについては開催2回のうち1回を市民活動推進センターと協力して実施することにより、多様な参加者が集まる充実した内容のものになった。多様化する市民活動に関する相談・要望に柔軟に対応できるよう引き続きセンターと協力しながら支援を行っていく。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組		-								
今後の方向性		継続	コメント	市民活動に関する事業への参加者を増やし、より市民活動への参画を促せるよう取り組んでいく。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3	

R5年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討			実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（1回）、中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討（1回）		
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討			実績	亀岡市ホームページにおける広報、市民活動紹介冊子の作成、まちづくり協働推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショップの開催（2回）、中間支援組織の機能強化に向けた協議1回		
実施結果の 自己評価	評価	かめおか霧の芸術祭と協力して、市民活動紹介冊子を作成したほか、まちづくりワークショップについては、かめおか霧の芸術祭のマルシェに市民活動団体と協力して実施することにより、多様な参加者に興味を持ってもらえるきっかけづくりとなった。							
	達成度	計画	4		目標	—		目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続	コメント	市民活動に接点をもってもらい、参画につながるような事業を引き続き実施する。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	—		III妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり				
所管課	企画調整課	関係課	全課				
取組内容	民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。						
期待される効果	民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	民間企業等との連携、協定締結の推進		実施	実施	実施	実施	実施
	包括協定（※）に基づく施策の推進		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定に関する状況把握 他自治体を参考に今後の公民連携のあり方検討	実績	上半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施 包括協定を4件締結		
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定締結結果の検証 他自治体を参考に今後の公民連携のあり方検討	実績	下半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施 包括協定を1件締結		
実施結果の 自己評価	評価	連携協定の活用状況の調査により、これまでの成果を把握した。市制70年記念事業への協力を包括協定企業に呼びかけ、イベント出展等の協力を予定している。また、新たな包括連携協定も協議が進行中である。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	引き続き連携協定の活用状況の把握に努め、他市事例も参考にしながら、所管課に対して有効活用の働きかけを行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

進捗管理シート（詳細）

令和6年度上半期の
取組実績

≪民間企業等との包括協定締結：4件≫

- 締結先：一般社団法人日本農業
協定締結日：令和6年4月3日
連携内容：有機農業を核とする持続可能な農業の普及拡大及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。
- 締結先：佐川急便株式会社
協定締結日：令和6年9月5日
連携内容：災害対策を核として、持続可能で暮らしやすいまちづくりと地域活性化に寄与することを目的とする。
- 締結先：学校法人瓜生山学園京都芸術大学
協定締結日：令和6年8月1日
連携内容：文化芸術の普及及び人材育成に努め、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展を目的とする
- 締結先：NP0法人才の木
協定締結日：令和6年7月31日
連携内容：「木育」により、人と木や森との関わりを主体的に考え、ふるさとを愛する豊かな心を育み、自然と調和した魅力あるまちの創造を図ることを目的とする。

≪民間企業等との個別連携協定締結：4件≫

- ※協定締結日（締結先）
- 連携・協力に関する協定
令和6年8月29日（キャンバスゲート(株)）
- 電気自動車を活用した脱炭素化及び強靱化に関する連携協定
令和6年4月23日（4者協定：ニチコン(株)、日産自動車(株)、京都日産自動車(株)）
- 未来づくり環境パートナーシップ協定
令和6年7月24日（(株)ごみの学校）
- 未来づくりパートナーシップ協定
令和6年9月9日（アマタホールディングス(株)）

●令和6年度上半期の主な取組・成果

- ・朝日放送グループホールディングス(株)との包括連携協定に基づき、番組制作放映等によるメディアプロモーションを展開した。
- ・大塚製薬(株)との包括的連携に基づき、標語コンテストを後援し、小中学生の熱中症対策啓発、朝食摂取啓発、災害備蓄啓発に寄与した。
- ・ソフトバンク株式会社との連携協定に基づき、「ポイ捨てごみゼロプロジェクト」を実施、LINEを活用したごみ投稿データにて集めたデータを収集。
- ・亀岡商工会議所とアクサ生命保険(株)との健康経営の普及促進及び健康増進に関する協定に基づき、健康増進・健康経営に関する企業向けセミナーを開催

<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p> <<民間企業等との包括協定締結：1件>> ●締結先：株式会社カインズ 協定締結日：令和6年12月13日 連携内容：環境教育、地域産業振興やオーガニックビレッジ宣言 に関する取組など、社会的課題の解決・改善に取り組む。 </p> <p> <<民間企業等との個別連携協定締結：10件>> ※協定締結日（締結先） ●災害時における損害調査結果の提供及び利用に関する協定 令和6年10月7日（三井住友海上火災保険） ●亀岡市ドライブレコーダーによるまちな見守り協定 令和7年2月21日（京阪砕石株式会社） 令和7年2月21日（日本紙業有限会社） 令和7年2月21日（明治安田生命保険） ●かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定 令和6年10月17日（ENEOS株式会社） 令和6年10月17日（植田油脂株式会社） 令和7年3月17日（トヨタ紡織株式会社） ●連携と協力に関する協定（リユース促進） 令和6年12月17日（マーケットエンタープライズ） ●協力医療機関の協定 令和6年12月26日（高齢者あんしんサポートハウス りしょう） 令和6年12月26日（軽費老人ホーム 第二亀岡園ケアハウス） 令和7年2月12日（特別養護老人ホーム 亀岡友愛園） </p> <p> <<令和6年度までに締結した連携協定の活用状況>> ●合計215件（包括協定16件、個別協定199件） ●令和6年度の主な取組・成果 ・アマタホールディングス(株)との協働で、環境先進都市亀岡の先の未来を描く将来ビジョンを作成、今後、将来ビジョン実現に向けたロードマップを作成する。 ・サイボウズ(株)との協働で、子育て支援に関する情報共有の将来的なクラウド化を目指し、システム構築に向けた調整を実施。 ・大塚製薬やモンベルなど包括協定を締結している企業との協働で、市制70周年記念事業への参画に向けた調整を実施。 </p>
<p>今後の課題</p>	<p> ・関係課が複数にまたがる包括連携協定の締結までに時間を要する傾向があり、効率的な仕組みの構築が必要である。 ・包括連携協定締結後、事業者側の負担もあり、実績に乏しい傾向があるため、締結段階で具体的な連携内容を調整する必要がある。 ・引き続き、民間のノウハウを活用した効果的・効率的な行政サービスの向上のため、公民連携の推進を図るとともに、活用状況の検証に努める。 </p>

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート										
R2年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進				実績	民間企業等との連携、協定締結 新たな包括協定の締結に向け、1社と具体的な協議を進行		
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進				実績	民間企業等との連携、協定締結 上半期に協議を進行していた1社と包括協定を締結 民間企業等との連携・協定締結状況の調査		
実施結果の 自己評価	評価	民間企業等と新たな協定を締結した。 庁内の状況把握及び課題把握に向け、協定締結状況等の調査を実施した。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組										
-										
今後の方向性										
		継続	コメント	今後は、調査結果の分析及び課題把握を行う。また、他市の公民連携の取組事例の調査を行う。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-		III 妥当性	3	
R3年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する課題把握				実績	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する状況及び課題把握のための調査		
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 他市の公民連携の取組事例の調査及び調査結果の共有				実績	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する状況及び課題把握のための調査、他市の公 民連携に関する取組事例調査・結果の共有		
実施結果の 自己評価	評価	民間企業等との新たな包括協定の締結には至らなかったが、所管部を対象に民間企業からの説明会を実施するなど、積極的に推進した。 庁内の状況把握及び課題把握に向け、協定締結状況等の調査を実施した。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組										
-										
今後の方向性										
		継続	コメント	引き続き、他市の公民連携の取組事例の調査を行い、所管部及び民間企業に対して積極的な働きかけを行う。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-		III 妥当性	3	
R4年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定に関する状況把握				実績	上半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施 包括協定を3件締結		
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定締結結果の検証				実績	下半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施 包括協定を1件締結		
実施結果の 自己評価	評価	連携協定の全庁的な活用状況を調査することで、これまでの成果や、課題の把握が可能となり、今後の連携協定や取組の参考となる資料を作成することができた。また、包括協定を新たに4件締結し、シティプロモーションやSDGs等の取組を推進するきっかけとすることができた。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組										
-										
今後の方向性										
		継続	コメント	引き続き連携協定の活用状況の把握に努め、他市事例も参考にしながら、所管課に対して有効活用の働きかけを行う。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-		III 妥当性	3	
R5年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定に関する状況把握				実績	上半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施		
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定締結結果の検証				実績	下半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況の調査実施		
実施結果の 自己評価	評価	連携協定の活用状況の調査により、これまでの成果を把握した。かめおか霧の芸術祭など、市主催事業において、連携企業の協力を得ることができたほか、トイレトレーラーの派遣により、被災地への支援を行うことができた。また、新たな包括連携協定も協議が進行中である。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組										
-										
今後の方向性										
		継続	コメント	引き続き連携協定の活用状況の把握に努め、他市事例も参考にしながら、所管課に対して有効活用の働きかけを行う。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-		III 妥当性	3	

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート							
No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。						
期待される効果	横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		実施	実施	実施	実施	実施
	プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握		実施	実施	実施		
	プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方を見直し			準備	実施	実施	実施
	多様な連携方法の検討・試行					実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート						
R6年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用	実績	上半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施、マニュアルの作成作業実施	
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 運用マニュアルの検証・見直し	実績	下半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施。運用マニュアル作成。	
実施結果の 自己評価	評価	緑化フェア機運醸成を目指したワーキンググループや、今後の市の重要施策を検討するプロジェクトチームなど、積極的な運用を行った。また、プロジェクトチーム等の運用に関するマニュアルを作成し、今後の円滑な運用に向けた仕組みづくりを行った。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	継続	コメント	引き続き、庁内連携の円滑化に努めるとともに、職員の働き方改革にも配慮した仕組みづくりを継続する。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。			

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>《プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の設置：3件》 ●アユモドキチャットボット活用に係るワーキンググループの設置 設置日：令和6年6月11日 目的：環境プロモーションセンターにおけるPR施策として、アユモドキチャットボットを導入するにあたり、より効果的な運用に向けて多様な視点や意見を取り入れる。</p> <p>●未来・エコロジックミュージアムプロジェクトの設置 設置日：令和6年9月10日 目的：①環境先進都市に向けた将来ビジョンの策定 ②将来ビジョン実現に向けたロードマップの策定 ③未来移行戦略の策定。</p> <p>●フローラサイクル ワーキンググループの設置 設置日：令和6年9月17日 目的：全国都市緑化フェアin京都丹波の機運醸成に向け、市民及び本市職員等の認知を獲得し様々な企画の実現に向けた本市職員の主体的な協力体制を構築する。</p> <p>《これまでに設置したプロジェクトチーム等の活用状況》 ●令和6年度上半期の主な取組・成果 【下水道フェスティバルプロジェクトチーム】 ・9月7日開催の第42回下水道フェスティバルの会場設置及び運営についての協議</p>
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>《プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の設置：0件》</p> <p>《これまでに設置したプロジェクトチーム等の活用状況》 ●継続：10グループ、廃止：3グループ</p> <p>●令和6年度の主な取組・成果 【未来・エコロジックミュージアムプロジェクト】 ・環境先進都市亀岡の先の未来を描く将来ビジョンを作成するため、勉強会を定期的に関催し、令和6年12月に市長への報告を実施。</p> <p>【フローラサイクル ワーキンググループ】 ・全国都市緑化フェアの機運醸成に向けた事業を検討し、ロスフラワーのアップサイクルによるPRを実施。</p> <p>《その他庁内連携に関すること》 ●亀岡市プロジェクトチーム設置マニュアルの制定（内規） 目的：庁内連携を推進し、多様化する行政課題に迅速に対応する組織体制を構築するとともに、運用ルールを明確にし職員の働き方改革を進めることを目的とする。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・運用マニュアルの周知を行い、庁内連携の積極的な活用と職員の参加意欲向上を目指す。</p>

(参考)

進捗管理シート									
R2年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の 活用状況についての調査		
実施結果の 自己評価	評価	プロジェクトチーム・ワーキンググループの会議を開催し、様々な課題について協議、検討を行った。 庁内の状況及び課題把握に向けた取組を行った（活用状況についての調査を実施）。							
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組		-							
今後の方向性		継続	コメント	今後は調査結果を分析し、課題整理を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 調査結果の分析			実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 、現状及び課題把握のための調査・課題の整理		
実施結果の 自己評価	評価	プロジェクトチーム・ワーキンググループの会議を開催し、様々な課題について協議、検討を行った。 庁内の状況及び課題把握に向けた取組を行った（活用状況についての調査を実施）。							
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組		-							
今後の方向性		継続	コメント	引き続き、活用状況の把握に努め、課題整理を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3
R4年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査（令和3年度に 設置のプロジェクトチーム等）			実績	上半期の設置状況及びこれまでに設置したプロ ジェクトチーム、ワーキンググループの活用状 況の調査実施		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 課題を改善していくための方策を検討			実績	下半期の設置状況及びこれまでに設置したプロ ジェクトチーム、ワーキンググループの活用状 況の調査実施		
実施結果の 自己評価	評価	これまでに設置したプロジェクトチーム等の活用状況を調査することで、これまでの成果の把握や 目的を達成し、廃止したグループを整理することができた。また、今後の効果的な運用に向けて全庁 的なマニュアル作成が必要であると考え、令和5年度中に作成、周知を行うこととした。							
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組		-							
今後の方向性		継続	コメント	活用状況の把握に努め、課題整理を行うとともに、運用マニュアル作成 にむけた検討を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3

R5年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 運用マニュアルの作成		実績	上半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施	
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 運用マニュアルの庁内周知		実績	下半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施	
実施結果の 自己評価	評価	新たなICT技術の導入による業務効率の向上を目指してワーキンググループを活用した。また、新たなイベントを円滑に開催するため、庁内及び関係団体との連携を行う組織を設置した。					
	達成度	計画	2	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	運用マニュアルの作成に向けた、他の自治体の調査を実施したが、完成には至らなかったため、令和6年度上半期での作成を行う。						
今後の方向性	継続	コメント	活用状況の把握に努め、課題整理を行うとともに、運用マニュアルの活用に向けた検討を行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	2	II 目標	—	III 妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-2一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート							
No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課	人事課・市立病院経営企画室	関係課	—				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。 						
期待される効果	職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上						
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画	①人材の育成、職員研修の充実						
	研修計画の策定と運用		実施	実施	実施	実施	実施
	職員研修、他団体への派遣研修		実施	実施	実施	実施	実施
	②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化						
	医療安全管理に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
	感染対策に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	3	3	3
	実績値	選択希望制研修の延べ受講者数	115	80	188	137	121
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	4	3	3	4	4

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施		
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施		
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 カスハラ対応研修やeラーニング（テーマ選択制）、派遣研修などを実施することができた。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	121
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 研修会を計4回実施することができた。研修により、医療安全、サイバーセキュリティ対策及び感染症対策等に関しての知識を得て、職員の能力向上をすることができた。					
	達成度	計画	4	目標	4	目標 (実績値)	4回
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理及び感染対策に係る研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				
		② I 計画					

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】 ○令和6年度職員研修計画を策定し運用を行った。 ○職員研修（市主催）を実施した。 ○派遣研修を実施した。 JAMP「政策の最先端」 JIAM「外国人相談窓口の運営」など4件 ○他団体への派遣研修を実施した。 株式会社京都パープルサンガ、一般社団法人森の京都地域振興社、京都府、京都先端科学 大学</p> <p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 ・医療安全管理及び感染対策に係る研修を各1回実施 ・医療安全管理研修では、169名が受講し、「医療安全に対する意識を高め、正しい患者確認ができる安全文化を醸成する」を目的として、ヒューマンエラー及び正しい患者確認の必要性について理解を深めた。 ・感染対策研修では、168名が受講し、職員の要望が多かった手指衛生についての研修を実施。「手指衛生の現状と課題」をテーマとして、手指消毒剤使用量の推移、適切な手指消毒のタイミングや使用量及び今後の課題等について研修を実施し、病院全体で共有し各部署で役立てる。</p>
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】 ○令和7年度職員研修計画を策定した。 ○職員研修を実施した。 階層別研修：新任主任研修など 選択希望制研修：カスハラ対応研修、eラーニング（テーマ選択制） ○派遣研修を実施した。 JIAM、市町村振興協会主催研修など18件 ○他団体への派遣研修を実施した。 株式会社京都パープルサンガ、一般社団法人森の京都地域振興社、京都府、京都先端科学 大学</p> <p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 ・年間数値目標4回に対し、下半期は医療安全管理に係る研修を1回、感染対策に係る研修を1回、合計2回（年間では4回）実施した。 ・医療安全管理に係る研修は、全職員を対象に「サイバーセキュリティ研修」を動画視聴形式で実施し、168名が受講した。実際に他病院で発生したサイバー攻撃の原因、対応について学ぶことにより、日々のセキュリティ対策等の種々の知識を得るとともに、サイバー攻撃に対する危機管理意識の向上につなげた。 ・感染対策に係る研修では、全職員を対象に「薬剤耐性菌※について」をテーマに座学及び動画視聴にて実施した。当院の薬剤耐性菌の検出状況、抗菌薬の使用状況について研修を行い、薬剤耐性菌の発生機序、発生防止策等を理解することにより、拡大させないシステム構築に役立つことができると考えられる。 ※薬剤耐性菌：細菌やウイルスが薬に対する抵抗力を持ってしまっ、薬が効かない状態に変化した細菌やウイルスのこと。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】 実施方法や内容の見直しを行いながら、職員研修を実施する必要がある。</p> <p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も公立病院として適切な目的で研修会を開催し、職員の能力（対応力）強化に努める。また、安心安全な病院であり続けるため、研修等の取組みを市民に発信していく必要がある。</p>

(参考)

進捗管理シート										
R2年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】感染対策に係る研修会の実施			
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施			
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 新型コロナウイルス感染症拡大により、集合研修や派遣研修の実施が難しいなか、テキスト研修や動画研修などの実施も行った。								
	達成度	計画	3		目標	3	目標 (実績値)	115人		
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修及び感染対策に係る研修を計4回実施することができた。 医療安全管理研修を実施することにより、職員の医療安全管理の能力向上に繋がりが、また、感染対策研修で新型コロナウイルス感染症に対する知識を深めることにより、実際の発熱外来、入院環境整備で活用することができた。								
	達成度	計画	5		目標	5	目標 (実績値)	4回		
未達成の原因と 今後の取組	-									
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 eラーニング研修などコロナ禍に対応した新しい研修手法を導入し、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理に係る研修及び新型コロナウイルス関連等の感染対策研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。							
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3		II 目標	3		III 妥当性	3	
		② I 計画	5		II 目標	4		III 妥当性	4	
R3年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る自己研修の実施			
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施			
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のなかで、集合研修、派遣研修、テキスト研修や動画研修など研修方法を工夫しながら実施することができた。								
	達成度	計画	3		目標	2	目標 (実績値)	80人		
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修及び感染対策に係る研修を計3回実施することができた。研修により、医療安全及び新型コロナウイルスに関しての知識を得て、職員の能力向上をすることができた。								
	達成度	計画	4		目標	4	目標 (実績値)	3回		
未達成の原因と 今後の取組	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のため、中止となった研修があったため。今後も継続して、職員研修の充実を図る。									
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、eラーニング研修などコロナ禍に対応した研修手法を導入し、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理に係る研修及び新型コロナウイルス関連等の感染対策研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。							
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3		II 目標	2		III 妥当性	3	
		② I 計画	4		II 目標	4		III 妥当性	3	

R4年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会				実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る自己研修、感染対策に係る情報発信の実施			
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会				実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施			
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のなかで、レジリエンス研修やeラーニング研修などを実施することができた。									
	達成度	計画	3		目標	4		目標 (実績値)	188人		
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 研修会を計3回実施することができた。研修により、医療安全及び感染症に関する知識を得て、職員の能力向上をすることができた。地震発生訓練では初動対応をシミュレーションし、実際に行動することで理解を深め、また課題点も見つかり非常に有用であった。									
	達成度	計画	4		目標	3		目標 (実績値)	3回		
未達成の原因と 今後の取組	-										
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理及び感染対策に係る研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。								
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3		II 目標	4		III 妥当性	3		
		② I 計画	4		II 目標	3		III 妥当性	3		
R5年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会				実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修会の実施			
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会				実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施			
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 ビジネスゲーム研修や接遇研修（eラーニング）などを実施することができた。									
	達成度	計画	3		目標	3		目標 (実績値)	137人		
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 研修会を計4回実施することができた。研修により、医療安全、情報セキュリティ及び感染症対策に関する知識を得て、職員の能力向上をすることができた。									
	達成度	計画	4		目標	4		目標 (実績値)	4回		
未達成の原因と 今後の取組	-										
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理及び感染対策に係る研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。								
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3		II 目標	3		III 妥当性	3		
		② I 計画	4		II 目標	4		III 妥当性	3		

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用				
所管課	人事課	関係課	—				
取組内容	職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。 また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・ 組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる 						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	人事評価	実施		実施	実施	実施	実施
	<small>(職務目標の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談)</small>						
	人事評価制度の見直し	実施		実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期 計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)	実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、行動記録表の記入			
	下半期 計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証	実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談(育成面談)、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証、制度見直しに係る試行実施			
実施結果の 自己評価	評価	令和2年度から本格実施しており問題なく実施できた。評価制度の見直しを進めるため新しい制度を試行実施した。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	コメント	職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>○人事評価のうち業績評価に係る「職務の目標」を被評価者本人が設定した。「職にふさわしい目標か」「成長につながる目標か」「組織目標を踏まえた目標か」「何を」「いつまでに」「どの水準まで」「どのように」といった視点を踏まえ設定した。 ○被評価者と1次評価者との間でスタートアップ面談（目標設定面談）を行い、業績評価の「職務の目標」が被評価者にとってふさわしい目標となっているのかを確認のうえ確定し、認識の共有化を図った。職位や組織目標との整合性が取れていない場合は目標の修正を指導した。その他業務遂行に際しての双方の要望や意見等について話し合いを行った。 ○評価者は部下を評価する際の参考資料として、日頃から部下の行動を見守り、望ましい行動、望ましくない行動、それらに対する指導内容などを随時「行動記録表」に書きとめた。</p>
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>○フォローアップ面談 新規採用職員等、特に育成の必要な職員について、必要に応じて1次評価者が面談し、目標達成に向けた進行管理や問題点等についてアドバイスを行い、今後の方向づけや動機づけを行う。 ○能力評価、業績評価、総合評価 本人、1次・2次評価者の順で、能力評価、業績評価、総合評価を実施する。 ○フィードバック面談（育成面談） 1次・2次評価者が連携しながら、人事評価の結果を被評価者にフィードバックし、今後の能力開発、育成点等をアドバイスする。 ○最終評価 市長による最終評価を実施する。 ○最終評価結果の開示 最終評価結果を本人に開示する。 ○ステップアップ面談 希望する職員を対象に職務状況シート等の内容に沿って配置希望等の聞き取りを行い、キャリアアップに向けたアドバイスを行う。 ○実施状況・結果の検証 人事評価の見直しとして多面評価を導入をすることとし試行実施した。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。</p>

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入、人事評価研修（評価者・被評価者）の実施
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証
実施結果の 自己評価	評価	制度見直し後、1年間の試行期間を経て令和2年度から本格実施となったが、特段問題なくスムーズに実施できた。新型コロナウイルス感染症拡大により集合形式での人事評価研修が実施できず書面研修となったが、一定制度理解が進んだと思われる。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	本格実施後1年が経過したところであるが、さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証
実施結果の 自己評価	評価	制度見直し後、1年間の試行期間を経て令和2年度から本格実施となったが、特段問題なくスムーズに実施できた。制度理解が進んだと思われる。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3
R4年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証
実施結果の 自己評価	評価	令和2年度から本格実施しており問題なく実施できた。制度理解が進み定着してきていると思われる。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3

R5年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入		
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証		
実施結果の 自己評価	評価	令和2年度から本格実施しており問題なく実施できた。制度理解が進み定着してきていると思われる。							
	達成度	計画	3		目標	—		目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続	コメント	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	—		III 妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用				
所管課	企画調整課・情報政策課		関係課	全課			
取組内容	効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。						
期待される効果	業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	RPAの活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI（※）の活用検討			実施	実施	実施	実施
	ICTツールの調査研究			実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5
	実績値		5	5	5	5	5

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、RPA運用啓発、AI活用に関する調査、 ICTツールの調査研究		実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成3本、RPA運用啓発、AI活用に関する 調査、ICTツールの調査研究		
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査、ICTツールの調 査研究、次年度RPA適用業務の検討		実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成2本、RPA運用啓発、AI活用に関する 調査、ICTツールの調査研究		
実施結果の 自己評価	評価	各業務担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。						
	達成度	計画	4	目標	3	目標 (実績値)	5件	
未達成の原因と 今後の取組	—							
今後の方向性	継続	コメント	現在運用中のシナリオに係る各種システムが更新されていくため、現行シナリオの修正対応を可能な限り行っていく。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。					

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。
 ※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。
 ※AI…人工知能のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>○RPA、AI-OCR運用 市民課 : 住民異動月次資料作成 税務課 : 市民税申告書入力業務他 : 還付伝票作成業務 保険医療課 : 国保ドック受診者宛名番号附番業務（新）他 健康増進課 : 検診受診者宛名番号附番業務 保育課 : 保育所入所決定結果登録業務 他 お客様サービス課 : 漏水減額等還付伝票作成業務 社会教育課 : 放課後児童クラブ宛名附番業務（新） 建築住宅課 : 市営住宅入居者収入認定処理業務（新）</p> <p>○RPAシナリオ作成 3本（内製） ○RPA運用啓発 新規シナリオの運用テスト時にデモを実施 ○AI-OCR単独運用 保育課：第2子以降保育料助成請求業務 : 企画調整課：調整給付金支払業務</p> <p>○AI活用に関する調査 AIチャットボットメンテナンス作業、AI議事録システム運用</p> <p>○ICTツールの調査研究 業務手順書作成ツール実証運用、ノーコードアプリ作成ツール検討</p>
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>○RPA、AI-OCR運用 市民課 : 住民異動月次資料作成 税務課 : 市民税申告書入力業務他 : 還付伝票作成業務 : 年特還付更新処理業務（新） 保険医療課 : 国保住所氏名宛名付番業務（新） : 国保ドック受診者宛名番号附番業務 他 健康増進課 : 検診受診者宛名番号附番業務 保育課 : 保育所入所決定結果登録業務 他 お客様サービス課 : 漏水減額等還付伝票作成業務 建築住宅課 : 市営住宅入居者収入認定処理業務</p> <p>○RPAシナリオ作成 2本（内製） ○RPA運用啓発 新規シナリオの運用テスト時にデモを実施 ○AI-OCR単独運用 保育課：第2子以降保育料助成請求業務 : 企画調整課：調整給付金支払業務</p> <p>○AI活用に関する調査 AIチャットボットメンテナンス作業、AI議事録システム運用</p> <p>○ICTツールの調査研究 各事業者から最新のICTツールの情報提供を吟味</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・導入した各種ツールを職員が主体的に活用できるよう継続的に支援及び教育を行う必要がある。 ・現在運用している財務会計システムが更新され、また基幹業務支援システムも来年度以降更新となる。現行シナリオをそのまま活用することができなくなるため、シナリオの修正や新規作成対応が必要になる。</p>

(参考)

進捗管理シート									
R2年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 運用ルール策定、シナリオ作成			実績	RPA、AI-OCR運用（特別定額給付金事務等） RPA運用ルールの整理		
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成 次年度RPA適用業務の検討			実績	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成、 職員研修会実施、次年度RPA適用業務の検討		
実施結果の 自己評価	評価	コロナ禍のためWGの開催はできなかったが、各担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。							
	達成度	計画	4		目標	4		目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続		コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかにしていく必要がある。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4		III妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニングの実施、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究			実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング、ICTツールの調査研究、AI議事録の実証		
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討			実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討		
実施結果の 自己評価	評価	コロナ禍のためWGの開催はできなかったが、各担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。							
	達成度	計画	4		目標	3		目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続		コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかにしていく必要がある。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	3		III妥当性	3
R4年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究			実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究		
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討			実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討		
実施結果の 自己評価	評価	各業務担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。							
	達成度	計画	4		目標	3		目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続		コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかにしていく必要がある。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	3		III妥当性	3

R5年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究			実績	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成1本 シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査・実証運用、ICTツールの調査研究・実証運用		
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討			実績	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成4本 AI活用に関する調査、生成AIの導入・操作研修 ICTツールの調査研究、新ツール本格運用開始 次年度RPA適用業務の検討		
実施結果の 自己評価	評価	各業務担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。 職員用チャットツール上で利用可能な生成AIを導入し、職員の理解度・習熟度を向上させるための操作研修を開催した。							
	達成度	計画	4		目標	3		目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続	コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかに行っていく必要がある。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	3		III 妥当性	4

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を發揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進				
所管課	総務課	関係課	企画調整課、財政課、会計課				
取組内容	迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。						
期待される効果	事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究		実施				
	庁内における推進体制の確保		準備	準備	実施	実施	実施
	環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）			準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期 計画	新システムの構築、更新作業 電子決裁拡大範囲の検討、ルール整理		実績	ワーキンググループ会議の実施 新システム構築、更新に向けた分科会の実施		
	下半期 計画	新システムの構築、更新作業 デモ環境の実施 電子決裁拡大範囲の検討、ルール整理、周知		実績	新システムの構築・更新作業完了 デモ環境実施 新年度からの電子決裁拡大		
実施結果の 自己評価	評価	新システムの構築・更新作業を完了し、電子決裁の拡大に向けた準備をすることができた。これまで紙決裁であった伝票については、3月中旬から電子決裁の運用を開始することができた。					
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	終了	コメント	文書管理と財務会計システムを連携させたシステムを導入したことで、これまで全て紙決裁であった伝票の電子決裁を開始できた。また起案文書について、これまで電子決裁の対象外としていた負担行為に関する文書等についても電子決裁を開始する準備を整えることができた。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

進捗管理シート（詳細）

令和6年度上半期の 取組実績	<p>文書管理システムと財務会計システムの運用開始に向け、庁内ワーキンググループ及び各システム更新に係る分科会（※1）を実施してシステムの構築、更新作業を進めた。</p> <p>【亀岡市電子決裁推進に係る庁内ワーキンググループ】 令和6年度キックオフ 令和6年4月23日 第1回WG会議 令和6年6月28日</p> <p>【システム更新に関する分科会】 文書管理システム 5回実施 財務会計システム 6回実施 システム環境関係 1回実施</p> <p>【主な協議内容】 ・更新、構築スケジュール進捗確認 ・課題事項の共有 ・運用開始に向けた庁内ルール等の検討</p> <p>※1・・・各システム更新に係る市担当者と更新事業者担当者との会議のこと。</p>
令和6年度下半期の 取組実績	<p>上半期に引き続き各システム分科会を実施、本稼働前にWGを開催して各所属間の最終調整を実施した。 1月に文書管理システム、2月に財務会計システムの操作説明会を開催し、デモ環境の運用を実施した。3月19日から新財務会計システムによる電子決裁の運用を開始、4月1日から新文書管理システムの本格運用を開始。</p> <p>【亀岡市電子決裁推進に係る庁内ワーキンググループ】 WG会議（進捗共有・調整） 2回実施</p> <p>【システム更新に関する分科会】 文書管理システム 7回実施 財務会計システム 4回実施</p> <p>【一般職員向け操作研修会】 文書管理システム 1月28日（3回/日） 財務会計システム 2月12日（3回/日）</p> <p>【部長級職員操作説明】 2月17日</p> <p>【理事者操作説明】 3月25日</p> <p>【参考】 令和6年度電子決裁率50.3% 複合機におけるコピー312,468枚削減、1,017,007円削減</p>
今後の課題	<p>・文書管理と財務会計システムを連携させたシステムを導入したことで、全ての伝票及び文書等の電子決裁を開始する体制を整えることができた。 ※添付書類が膨大なものなど、紙との併用決裁も可能。</p>

(参考)

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	電子決裁の運用状況の把握 近隣市及び先行自治体の調査・研究			実績	電子決裁の運用状況の把握 近隣市の導入状況の調査		
	下半期	計画	課題の整理、効果の試算 庁内推進体制の整備			実績	現状把握と課題の整理 庁内推進体制の整備に向けた検討		
実施結果の 自己評価	評価	近隣市の導入状況の調査や、電子決裁の運用状況を把握する中で、一定課題の整理ができた。							
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組		-							
今後の方向性		継続	コメント	庁内推進体制の整備を進め、職員への意識調査を行うなど、引き続き電子決裁の運用拡大に向けた課題の洗い出し、検討を進めていく。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-		III 妥当性	3
R3年度 実施状況	上半期	計画	課題の整理、効果の試算 環境整備（複合機の導入検討）			実績	先行自治体への視察、課題の整理 電子決裁の対象範囲拡大に向けた検討		
	下半期	計画	電子決裁操作研修、意識調査			実績	電子決裁操作研修の実施、電子決裁の対象範囲 の拡大		
実施結果の 自己評価	評価	当初の計画から前倒しして、電子決裁の一部運用拡大を行うことができた。							
	達成度	計画	5		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組									
今後の方向性		継続	コメント	今後の運用拡大本格実施に向けて、財務会計システムとの連携など環境整備を行い、業務の効率化を図る。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	-		III 妥当性	3
R4年度 実施状況	上半期	計画	電子決裁運用拡大後の効果の検証、課題の整理、ワーキング会議の開催			実績	電子決裁の課題の整理及び財務会計システムとの連携に向けた、新システム等の情報収集		
	下半期	計画	財務会計システムとの連携に向けた環境整備			実績	財務会計システムとの連携をするための新システム導入経費の確保		
実施結果の 自己評価	評価	文書管理システムと財務会計システム一体での更新を実施するための債務負担行為の設定など、令和6年度中の本稼働に向けた今後の方針を決めることができた。							
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組									
今後の方向性		継続	コメント	令和6年度の本稼働に向けて、システムの構築・導入に向けた契約事務等を進める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-		III 妥当性	3

R5年度 実施状況	上半期	計画	文書管理システム及び財務会計システムの更新に向けた準備・検討		実績	ワーキンググループ会議の実施 新システム導入に向けた先行自治体視察 プロポーザルの実施に向けた準備	
	下半期	計画	文書管理システム及び財務会計システムの更新に向けたプロポーザルの実施、業者選定等		実績	プロポーザル実施 更新業務委託契約締結	
実施結果の 自己評価	評価	ワーキンググループ会議でのシステムの仕様を検討のうえ、プロポーザル方式による業者選定を実施し、計画通りに更新業務委託契約を締結することができた。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	新システムの構築、更新作業を進めるとともに電子決裁拡大に向けて具体的な庁内での運用ルール等を検討・整理する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証				
所管課		財政課	関係課	全課			
取組内容	経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。						
期待される効果	最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討		実施	実施	実施	実施	実施
	主管課による事務事業の実態把握及び検討		実施	実施	実施	実施	実施
	検討事項の審査		実施	実施	実施	実施	実施
	当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）	10	10	10	10	10
	実績値		20	13	10	11	10

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査	実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成	実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定		
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常的経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	10件
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	子どもファースト事業や今後予定している大型事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。				

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。

※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の取組実績</p>	<p>持続可能で安定した財政運営を維持しつつ、子どもファースト事業や今後控える大型事業にも財源を活用できるよう、次のとおり既存事業の見直し等を実施した。 令和6年7月16日 既存事業の見直し等について各部局室へ照会 令和6年8月20日～26日 12部40事業について市長、副市長と各部室局長によるヒアリングを実施 上記を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドを徹底することなどにより、経費削減に努め、今後の予算編成につなげる。</p>
<p>令和6年度下半期の取組実績</p>	<p>サマーレビュー等に基づき、当初予算における要求上限額の決定、通知等を行った。 また、サマーレビューの実施においては、経常的経費を含む10事業を縮減し、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底すること等により、子どもファースト事業をはじめとした、本市の特色ある事業を展開するとともに、持続可能な財政運営を見据えた当初予算編成を行うことができた。令和7年度当初予算は、市制70周年記念事業や全国都市緑化フェアin京都丹波開催に向けた事業などを予算化している。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>物価高騰の影響により、経常的な経費の上昇が今後も見込まれることから、抑制措置や代替措置などを検討し、引き続き経費節減に努める必要がある。</p>

(参考)

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定		
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度より抑制等することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。							
	達成度	計画	5		目標	5		目標 (実績値)	20件
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続		コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	5		II目標	5		III妥当性	4
R3年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定		
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度から引き続き抑制することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。							
	達成度	計画	4		目標	4		目標 (実績値)	13件
未達成の原因と今後の取組	—								
今後の方向性	継続		コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	4		III妥当性	3
R4年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定		
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度から引き続き抑制することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。							
	達成度	計画	3		目標	3		目標 (実績値)	10件
未達成の原因と今後の取組	—								
今後の方向性	継続		コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	3		III妥当性	3

R5年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定		
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常的経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。							
	達成度	計画	3		目標	3		目標 (実績値)	11
未達成の原因と 今後の取組	—								
今後の方向性	継続	コメント	子どもファースト事業や今後予定している大型事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	3		III妥当性	3

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行				
所管課	財政課	関係課	全課				
取組内容	償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。						
期待される効果	償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	元金償還額を上回らない市債の発行		実施	実施	実施	実施	実施
	公債費の抑制		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円
	実績値		407.4億円	403.9億円	390.6億円	377.7億円	367.2億円

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期 計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討		実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討	
	下半期 計画	検討結果に基づく当初予算等の編成		実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、市債 発行を抑制した当初予算を編成	
実施結果の 自己評価	評価	学校の新校舎建設や令和8年開催の全国都市緑化フェアの会場整備等の大型事業により市債発行額が増加することに伴い、令和7年度予算では、市債発行額が元金償還額を上回るものの、事業の優先順位付けにより可能な限り市債発行を抑制する予算編成とした。				
	達成度	計画	3	目標	4	目標 (実績値) 367.2億円
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	終了	コメント	今後予定している大規模事業により市債残高の増加が見込まれるが、引き続き新たな市債の抑制に努める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。			

※一般財源…用途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。
 ※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となるときに、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。
 ※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。
 ※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の取組実績</p>	<p>少子高齢化による社会保障関係経費の増加等の課題に対応しつつ、健全で持続可能な財政運営を維持するため、現在の財政制度等が継続すると仮定して、今後、5年間の中期財政見通しを毎年度作成している。</p> <p>今年度の中期財政見通しを作成するにあたり、今後見込まれる普通建設事業等について各部へ照会し、見通し期間中（令和7年度～令和11年度）の市債発行総額の抑制を検討した。</p>								
<p>令和6年度下半期の取組実績</p>	<p>毎年10月に作成する今後5年間の本市の財政見通しである「中期財政見通し」において、選択と集中の考え方に基づき、優先度の高い重点施策の事業費を見込んだ計画を立てた上で、当初予算編成段階において、より具体的に市債発行を伴う事業について、効率的な行政運営を見据える中で事業の優先順位等をさらに精査し、国府の補助金等の十分な活用を検討することで、可能な限り市債発行の抑制に努めた。</p> <p>（令和7年度当初予算額）</p> <table border="0"> <tr> <td>歳入 22款 市債</td> <td>5,005,600千円</td> <td>…</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>歳出 12款 公債費中、元金</td> <td>3,660,912千円</td> <td>…</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>①市債借入額 - ②元金償還額 = 1,344,688千円</p>	歳入 22款 市債	5,005,600千円	…	①	歳出 12款 公債費中、元金	3,660,912千円	…	②
歳入 22款 市債	5,005,600千円	…	①						
歳出 12款 公債費中、元金	3,660,912千円	…	②						
<p>今後の課題</p>	<p>今後予定している大規模事業により市債残高の増加が見込まれるが、選択と集中の考え方に基づき、事業の優先順位付けによる計画的な事業執行により、新たな市債発行の抑制に努める必要がある。</p>								

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート									
R2年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討			実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、優先 順位等の検討		
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成			実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金償還 額を上回らない市債発行となる当初予算を編成		
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、公債費を削減することができた。							
	達成度	計画	5		目標	5	目標 (実績値)	407.4億円	
未達成の原因と 今後の取組	-								
今後の方向性	継続		コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4		III妥当性	4
R3年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討			実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、優先 順位等の検討		
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成			実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金償還 額を上回らない市債発行となる当初予算を編成		
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、年度末の市債残高を削減することができた。							
	達成度	計画	5		目標	5	目標 (実績値)	403.9億円	
未達成の原因と 今後の取組	-								
今後の方向性	継続		コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4		III妥当性	3
R4年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討			実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、優先 順位等の検討		
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成			実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金償還 額を上回らない市債発行となる当初予算 を編成		
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、年度末の市債残高を削減することができた。							
	達成度	計画	3		目標	5	目標 (実績値)	390.6億円	
未達成の原因と 今後の取組	-								
今後の方向性	継続		コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	4		III妥当性	3

R5年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討			実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討	
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成			実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金 償還額を上回らない市債発行となる当初予算 を編成	
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、年度末の市債残高を削減することができた。						
	達成度	計画	3	目標	5	目標 (実績値)	377.7億円	
未達成の原因と 今後の取組	-							
今後の方向性	継続	コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	4	III 妥当性	4	

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート							
No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進				
所管課	財産管理課		関係課	各施設所管課			
取組内容	公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。						
期待される効果	施設の適正化により安定した財政運営を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	施設の廃止、統合等の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
	各施設個別計画の策定		実施	実施			
	各個別施設計画の内容精査					実施	実施
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成28年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%
	実績値		3.42%	2.96%	2.77%	2.96%	2.65%

進捗管理シート						
R6年度 実施状況	上半期	計画	各個別施設計画の内容精査		実績	・各個別施設計画の策定・内容精査 ・個別施設計画の進捗状況の確認と目標達成に向けた研究・検討
	下半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催		実績	・亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議にて、令和6年度末（見込み）時点での延床面積削減率及び各公共施設の現状等の共有化を行うとともに、個別施設計画の策定状況を報告。
実施結果の 自己評価	評価	令和6年度は、新たな環境拠点施設や保育施設及び防災施設など、本市の重要施策に関連する施設整備が進んだことから数値目標の達成には至らなかったが、児童館等の除却が進んだ。				
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	現在、ふるさと納税等の財源を活用しながら、防災、教育、文化施設等、本市の重要施策を推進しており、今後も大型事業が見込まれている。市全体の管理計画を精査するとともに、長寿命化等による持続可能な財政運営に努める。					
今後の方向性	継続	コメント	管理計画をもとに、施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。			

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>令和5年度末時点の延床面積削減率及び各公共施設の設置状況や除却計画を把握することで、「亀岡市公共施設等総合管理計画」に掲げる削減目標達成に向けての推進を図った。また、新規施設については、各施設所管課において個別施設計画の策定を行った。</p>
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議を開催し、延床面積10.7%削減の目標達成に向けた引き続き施設の削減に努めていくとともに、個別施設計画の策定状況について報告。</p> <p>【会議での協議内容及び検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設、除却施設等の確認（令和6年度末時点（見込み）） ・除却施設のみならず、除却予定施設、長寿命化施設等、詳細な把握に努め更なる延床面積の削減に繋げていく。 <p>●令和6年度末時点（見込み）延床面積削減率2.65%（平成28年度対比）</p> <p>新築等…環境プロモーションセンター、保津保育所、石田梅岩記念館、防災倉庫・トイレ棟 等</p> <p>除却等…東部児童館、天川児童館、平和台住宅（簡耐）、平和台一戸建住宅 亀岡きのこ生産施設（譲渡）等</p>
<p>今後の課題</p>	<p>多様化する市民ニーズに応える効率的で市民満足度の高い行政サービスの提供と安定した財政運営を両立するため、バランスのとれた公共施設の最適化を進めるとともに、削減に向けての具体的な方法を確立していく必要がある。</p>

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催			実績	各個別計画策定状況の把握及び作成依頼
	下半期	計画	各個別施設計画の策定			実績	各個別施設計画の策定
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率は、数値目標を達成している。各個別施設計画の策定は、状況把握及び各施設所管課への作成依頼を行い、予定した全施設の計画策定を達成した。					
	達成度	計画	4		目標	4	目標 (実績値) 3.42%
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	4	III妥当性 3
R3年度 実施状況	上半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催			実績	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催
	下半期	計画	各個別施設計画を反映した、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂			実績	亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率は、数値目標を達成している。個別施設計画との整合を図るため、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂を行った。					
	達成度	計画	3		目標	3	目標 (実績値) 2.96%
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	改訂された管理計画をもとに、施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	3	III妥当性 3
R4年度 実施状況	上半期	計画	建築施設の延床面積削減のための研究・検討			実績	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議を開催し、令和3年度末時点での延床面積削減率及び各公共施設の現状等の共有化
	下半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催および会議結果を踏まえた今後の方向性の検討			実績	今後の方向性を検討（除却施設のみならず、除却予定施設、長寿命化施設等、詳細な把握に努め更なる延床面積の削減に繋げる）
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率について、数値目標を達成することができた。					
	達成度	計画	3		目標	3	目標 (実績値) 2.77%
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	3	III妥当性 3

R5年度 実施状況	上半期	計画	<ul style="list-style-type: none"> 各個別施設計画の内容精査 亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂（案）の作成 		実績	<ul style="list-style-type: none"> 各施設所管課にて個別施設計画の内容精査 個別施設計画の内容を踏まえて亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂（案）の作成 		
	下半期	計画	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催 亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂 		実績	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議にて、令和4年度末時点での延床面積削減率及び各公共施設の現状等の共有化を行うとともに、個別施設計画及び亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂内容の承認 		
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率について、数値目標を達成することができた。また、個別施設計画との整合を図るため、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂を行った。						
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	2.96%	
未達成の原因と 今後の取組	-							
今後の方向性	継続	コメント	改訂された管理計画をもとに、施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3	II目標	3	III妥当性	3	

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート							
No.	13	取組項目	受益者負担の適正化				
所管課	企画調整課・教育総務課		関係課	使用料・手数料の所管課			
取組内容	受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。						
期待される効果	受益と負担の公平性を保つ						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①使用料・手数料の検証						
	使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査		実施	実施	実施		
	調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析			実施	実施	実施	
	使用料・手数料の適正化の検討・見直し			実施	実施	実施	実施
	②学校施設使用料の検証						
	学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査		実施				
	調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析		実施				
使用料徴収の適正化を検討・見直し			実施				
目標指標	数値目標	-		-	-	-	-

進捗管理シート						
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 ・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査		実績	・本市の使用料・手数料の見直し状況調査
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 ・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査		実績	・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査
実施結果の 自己評価	評価	窓口の混雑を軽減し、市民の利便性を高めるため、コンビニ発行手数料を見直すなど、受益者負担の適正化に努めた。また、国の制度変更に伴う公金収納のデジタル化に向けた情報収集を今後も継続し、円滑な移行に努める。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	継続	コメント	利用者の利便性を考慮しつつ、物価高騰を考慮した適正な価格設定に努める必要がある。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	「資料2-2 評価シート」で評価してください。			

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>【①使用料・手数料の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本市の使用料・手数料の見直し状況調査を実施 ●見直した使用料・手数料：1件 （川の駅・亀岡水辺公園） ・展示室使用料：1,000円/3時間→1,000円/1時間 ●新設した使用料：2件 （環境プロモーションセンター） ・貸切等使用に関する使用料：1フロア午前（9-12時）1,650円 1フロア午後（13-17時）2,750円 1フロア昼間（9-17時）4,400円 1フロア全日（9-21時）7,700円ほか ※市外居住者、市外法人は3割加算 ※通常時、個人利用は無料 <p>（川の駅・亀岡水辺公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防敷：（バーベキュー・デイキャンプ）3,000円/1区画 （宿泊キャンプ）5,000円/1区画+1,000円/一般1名+500円/小学生1名 ほか 		
<p>令和6年度下半期の 取組実績</p>	<p>【①使用料・手数料の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本市の使用料・手数料の見直し状況調査を実施 ●見直した使用料・手数料：2件 ・市営火葬場使用料：12歳以上市民15,000円→20,000円 等全8種の料金を見直し ・市民課窓口手数料：住民票（コンビニ交付）300円→200円 住民票（窓口交付）300円→400円 等全3種の料金を見直し <p>○他の自治体における使用料・手数料の見直し状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内14市（京都市含む）及び近畿圏内の同規模自治体36市に過去5年間に於ける施設使用料や証明書発行手数料等の見直し状況を調査。 ・回答数：29件 （過去5年間で見直した自治体の割合） （亀岡市の直近見直し状況等） <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・水道料金・下水道料金：48% ・戸籍証明書等発行手数料（市民課関係）：17% ・課税証明書等発行手数料（税務課関係）：21% ・有料公園等施設使用料（土地占用除く）：24% ・道路占用等、土地占用料：24% ・使用料等に関する設定基準の設置状況：17% </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度 令和6年度 見直しなし 令和5年度 令和2年度 設定基準なし </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金・下水道料金：48% ・戸籍証明書等発行手数料（市民課関係）：17% ・課税証明書等発行手数料（税務課関係）：21% ・有料公園等施設使用料（土地占用除く）：24% ・道路占用等、土地占用料：24% ・使用料等に関する設定基準の設置状況：17% 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度 令和6年度 見直しなし 令和5年度 令和2年度 設定基準なし
<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金・下水道料金：48% ・戸籍証明書等発行手数料（市民課関係）：17% ・課税証明書等発行手数料（税務課関係）：21% ・有料公園等施設使用料（土地占用除く）：24% ・道路占用等、土地占用料：24% ・使用料等に関する設定基準の設置状況：17% 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度 令和6年度 見直しなし 令和5年度 令和2年度 設定基準なし 		
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料等の設定基準については、施設ごとの個別の事情が異なるため基準を設けないことと令和3年度の時点で判断しているが、他自治体の設定基準等を参考に亀岡市での導入可能性について引き続き検討を行う。 ・国の制度変更に伴う公金収納のデジタル化（eLTAXを活用した公金収納）に対応するため庁内及びシステムベンダーとの調整を行う。 		

(参考)

進捗管理シート										
R2年度 実施状況	上半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 学校施設使用料の現状把握				実績	【②学校施設使用料の検証】 平成27年度から令和元年度までの、「小学校施設使用料」「中学校施設使用料」から「平均」を算出。 京都府下の他市の「体育館使用料」「グラウンド使用料」「使用条例・規則」を調査し、亀岡市の使用料と比較。		
	下半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 近隣市の状況調査				実績	【②学校施設使用料の検証】 京都府内の他市の状況を調査し、亀岡市の使用料と比較した。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正し、申請方法及び使用料徴収の改善を図った。		
実施結果の 自己評価	評価	【②学校施設使用料の検証】近隣市の学校施設使用料及び使用条例を調査し、亀岡市との比較等による現状分析を行った。亀岡市の使用料が他市と比較して概ね適当であることが把握できた。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正することで、使用者の負担軽減を図ることができた。								
	達成度	計画	5		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と 今後の取組		-								
今後の方向性		継続	コメント	【②学校施設使用料の検証】使用料徴収の適正化を検討し、使用料支払いの利便性の向上を図っていく。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	4		II目標	-		III妥当性	3	
R3年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 使用料・手数料の状況把握 【②学校施設使用料の検証】 使用料徴収の適正化を検討・見直し				実績	【①使用料・手数料の検証】 使用料の状況把握のための調査に向けた事務を進めた 【②学校施設使用料の検証】 使用料の支払方法を拡大		
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 近隣市の状況調査、調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析 【②学校施設使用料の検証】 使用料徴収の適正化を検討・見直し				実績	【①使用料・手数料の検証】 使用料の設定状況調査、近隣市の状況把握・比較、 施設使用料の見直しを実施 【②学校施設使用料の検証】 使用料の支払方法を拡大		
実施結果の 自己評価	評価	【①使用料・手数料の検証】 施設使用料を定める際の統一的な基準の設定について検討するため、施設使用料の設定状況について調査を行い、施設使用料の見直しを実施した。 【②学校施設使用料の検証】 キャッシュレス決済の導入により利用者の利便性を高めることができた。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組		-								
今後の方向性		継続	コメント	【①使用料・手数料の検証】 今後は、使用料・手数料の適正化について検証を進める。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3	
R4年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 手数料の状況把握				実績	【①使用料・手数料の検証】 手数料の設定状況及び見直し状況の調査実施		
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 近隣市の状況調査、近隣市との比較 使用料・手数料の適正化を検討				実績	【①使用料・手数料の検証】 使用料・手数料の見直し状況および近隣の同規模自治体との比較調査を実施		
実施結果の 自己評価	評価	【①使用料・手数料の検証】社会体育施設や有料公園施設について、令和4年4月1日から市内利用者と市外利用者の料金差を設定した。また、上半期は手数料の設定状況を調査し、概ね近隣市との均衡が取れていることが確認できた。下半期は手数料及び使用料の見直し状況を調査し、1件の見直しがあった。								
	達成度	計画	3		目標	-		目標 (実績値)	-	
未達成の原因と今後の取組		-								
今後の方向性		継続	コメント	【①使用料・手数料の検証】 使用料については、実際の運営状況や利用者の利便性を考慮した適正な価格設定に努める必要がある。						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	-		III妥当性	3	

R5年度 実施状況	上半期	計画	・インボイス制度に係る近隣市等の対応状況調査 ・手数料の他市設定状況調査			実績	・インボイス制度開始に係る近隣市等の対応状況、 手数料・使用料の見直し状況調査 ・本市の使用料・手数料の見直し状況調査		
	下半期	計画	・インボイス制度に係る使用料等適正化の検討 ・手数料の他市設定状況調査			実績	・近隣市等の手数料・使用料の見直し状況調査 ・本市の使用料・手数料の見直し状況調査		
実施結果の 自己評価	評価	市立病院の手数料やかめまるランド使用料を見直すなど、受益者負担の適正化に努めた。また、インボイス制度の開始に際して、近隣自治体の調査を行うなど、スムーズな制度対応に努めた。							
	達成度	計画	3		目標	—		目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	物価高騰を考慮した適正な価格設定に努める必要がある。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	3		II目標	—		III妥当性	3